



大崎町の道路建設予定地で行われた鉄入れ



大崎町中央公民館で行われた式典

東九州自動車道

鹿屋串良IC～大隅IC間が着工

3月21日、東九州自動車道の鹿屋串良IC～大隅IC間の本格的な工事着手を前に、大崎町で起工式が開催されました。

東九州自動車道は、福岡県北九州市を起点として大分・宮崎・鹿児島各県をむすび、鹿児島市に至る延長436kmの高速自動車国道で、県内では、志布志IC～末吉財部IC間(48km)で整備が進められています。

このうち今回、起工式が行われた鹿屋串良IC～大隅IC間は、設計速度約100km/hの4車線道路(当面2車線で使用)で、全長は約18km。国の直轄事業(新直轄方式)で整備されるため、通行料は無料になります。

大崎町中央公民館で行われた記念式典には、伊藤鹿児島県知事や地元関係市町長など

約100人が出席。伊藤知事は「県土の一体的な浮揚に大きく貢献する東九州自動車道の建設に弾みがつく」と述べ、山下鹿屋市長は「この日を一日千秋の思いで待ちわびていた」と喜ぶとともに、志布志IC～鹿屋串良IC間の早期着工と日南IC～志布志IC間の整備計画区間への格上げを訴えました。

また、大崎町野方の建設予定地に場所を移して行われた鉄入れ式では、大きなかけ声とともに鉄が入られ、最後は参加者全員で万歳三唱をして着工を祝いました。

【問い合わせ】

市都市政策課高速道対策室
☎0994-31-1130